

花豆かんさつにつき 3 ページめ

札幌市博物館活動センター 2023 年度 おうちミュージアム

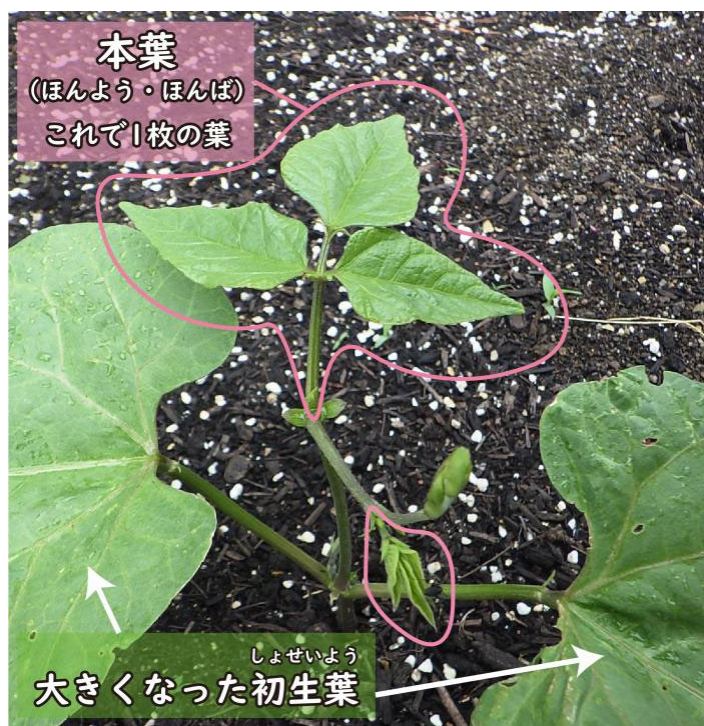
日付:2023 年 6 月 8 日(木曜日)

天気:晴れ 気温 24℃

場所:博物館活動センターの花壇



5 月 24 日に最初の 1 本が発芽(はつが)してから、他のハナマメたちも続々と発芽してきたよ!



初生葉(しょせいよう)が大きくなって、次の葉っぱが出てきたよ!

子葉(しよう)とも初生葉とも形がちがうね。

これを「本葉(ほんよう、ほんば)」というよ!

この後から出てくる葉っぱは全て「本葉」で、ほとんど同じ形なんだって。



これまでに育てたハナマメの葉っぱの写真と見比べてみよう!

本当だ!本葉は全部同じ形だね!

これが、「本」当の「葉」っぱってことか……。



ハナマメの本葉は、同じ形をした 3 つのパーツに分かれているね。

3 つのパーツはそれぞれ「小葉(しょうよう)」というよ。

3 つの小葉が合わさって 1 枚の葉っぱなんだって! このように、いくつかの小葉が合わさってできた 1 枚の葉っぱを「複葉(ふくよう)」というよ。

ちなみに、サクラやシラカンバのような葉は単葉(たんよう)といいます。



ハナマメの芽生えのまとめ

芽生えを観察して調べる中で、植物の形をあらわす専門的な言葉がたくさん出てきたので、まとめておこう!

1. 「発芽(はつが)」して最初に出る 2 枚の葉っぱは「子葉(しょう)」といって、ハナマメの場合は土の中にある。(花豆かんさつにつき 2 ページめ参照)
2. 子葉の次に、「初生葉(しょせいよう)」という葉っぱが土の上に出る。(花豆かんさつにつき 2 ページめ参照)
3. 初生葉の次から出る葉っぱは「本葉(ほんよう、ほんば)」という。その形は、3 つの「小葉(しょうよう)」からできる「複葉(ふくよう)」である。

複葉（ふくよう）をもつ植物

博物館活動センターの敷地内で、複葉をもつ植物を探してみたよ！



カタバミはハート形の小葉が3つ合わさって1枚の葉っぱなんだ。



クローバーという呼び方でなじみのあるシロツメクサ。

小葉が4つだと、四つ葉のクローバーだね！



建物と地面の隙間から生えていたナワシロイチゴも、小葉が3つの複葉だね！

ナワシロイチゴのように、1枚の複葉のなかに、サイズや形の異なる小葉を持つパターンもあるよ。